

いいお葬式を実現する
3つのポイント

1. お葬式をする場所



2. 費用



3. どんなお葬式にしたいか



自分のため、家族のために
自分のお葬式とお墓について考えてみよう

「自分のエンディング(終焉)を考える」ことは、将来へのモヤモヤした不安が軽減されるとともに、この先の生き方を考えるきっかけにもなると思います。今回はお葬式とお墓についてお話しします。情報を集め、家族ともしっかりと相談しながら、自分のエンディングを考えていきましょう。

家族は大切な人を失った悲しみを抱えながら、お葬式の準備をしなくてはなりません。左記の3つは、エンディングノートなどに明示し、さらに優先順位もつけておくといいたし、う。式に来てほしい友人の名前を挙げておくのもおすすめです。

「いいお葬式だったね」を実現するために、亡くなってからたった1時間ほどで、遺された家族は大切な人を失った悲しみを抱えながら、お葬式の準備をしなくてはなりません。左記の3つは、エンディングノートなどに明示し、さらに優先順位もつけておくといいたし、う。式に来てほしい友人の名前を挙げておくのもおすすめです。



“終活”
の
ススメ

終活とは人生を
より良くするための活動

いま注目を集めている「終活」とは、今までの人生を振り返り、将来をより楽しむための活動のことをいいます。今回は自分のエンディングについて、考えを広げてみましょう。

Profile | この方に伺いました。

一般社団法人 終活カウンセラー協会
代表理事 武藤 頼胡さん
2011年協会を設立。「終活」を普及させるため、全国で年間130回以上の講演を務める。



介護・保険・年金・相続・遺言葬儀・お墓など終活に関する基礎知識を学べる
第154回 終活カウンセラー初級検定
8月27日(土)10時~16時45分(受付9時半~)
大阪産業創造会館GF 会議室E(大阪市中央区本町1-4-5)
受講料:9,970円※テキスト・受験代・昼食代含む
定員:100名 問:06-6777-1646



様々な専門業者のネットワークにより、伝統は橋渡しされる。



洗練された店内には様々な新古美術品が展示されている。月毎にテーマを設けた企画展も開催中。

利用者の声

趣味のお茶ができなくなってしまいました。娘には茶道具の価値がわからないので、遺品整理に手放さずしていただきました。(70代 女性)

捨てる予定の物に値段がついたので嬉しかったです。しまいこんでいた物よりも、居間にポンと置いてあった物の方が高く驚きました。(50代 女性)

安ければ処分しようと査定していただきましたが、良い評価だったので家宝として残すことにしました。親切にいただいたので、また機会があればお願いしたいと思います。(60代 男性)

ギャラリーあしや

芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋116
営/11時~18時 日火祝定休
[加盟団体]大阪美術商協同組合、神戸美術商協同組合
[古物商番号]兵庫県公安委員会許可 第631301400010号
☎0797-23-6626
メール:info@g-ashiya.com
g-ashiya.com で検索



- 幅広い取扱商品
- 新古美術全般
 - 西洋美術全般
 - 東洋美術全般 (中国美術、韓国美術等)
 - 書画全般
 - 茶道具
 - 骨董全般

買取の流れ

電話もしくは店頭にて問合せ
※商品詳細といただいた相場を確認
自宅へ出張もしくは店頭へ持込
無料査定後、買取額提示
金額に納得できれば成約
その場で現金支払い可

新古美術品
買取・販売
気持のこもった道具だからこそ
引き継ぐことを真剣に考える

生前整理や遺品整理、処分にもそれぞれ、創業30年以上、芦屋で新・古美術商を営む同店。近ごろでは、生前整理や遺品整理などをきつかけとした、道具の買取や相続、処分についての相談が増えてきたそう。「親に遺されたお品の処分について、も、気持ちがかもついているのでなかなか手放せなという声は多いです。そういった声を受けて

か、お子様世代には、モノではなくお金にして遺すという考え方も増えてきました」と店長の藤原さんは話す。どう遺すか、遺してもらうか、家族でしっかりと話し合うことは大切なだろう。買取は「美の継承」誠心誠意の査定を、同店は、ずっと生きてきた美術品の歴史や背景を大事にし、その美の継承をモットーとしている。「気持ちの詰

まった品なので、誠心誠意みさせていたたいです。査定後にはご納得できるまで、じっくり考えて答えを出してください」と藤原さん。流のものに触れてきた豊かな経験から、道具の価値を見出し、残すべきものや、逆に手放した方がよいものなど、親身になって相談に乗ってくれる。不動産も扱えるので家の悩みもおまかせできる。ぜひ気軽に相談を。

<永代供養・お墓の引越 できある質問>

- Q.田舎にあるお墓を移したいのですが、どのように供養すればいいですか?
A.当苑では、ご先祖供養墓からご夫婦、個人墓まで色々な供養墓がございます。また、お墓の改葬(お墓の引越)も専門業者が親切丁寧にお手伝いさせていただきますので、ご安心ください。
- Q.後継者がいないので、お墓を移しても誰も手入れができません。
A.当苑ではお祀りしている供養塔すべての霊位様には楠寺瑠璃光苑の典礼に従い、供養させていただきます。また、墓苑の清掃も責任を持って行っております。
- Q.お寺とお付き合いもなく、無宗教です。大丈夫?
A.大丈夫です。当苑では歴史ある楠寺第30代住職が宗旨・宗派問わず、ご供養させていただきます。決まった宗派、寺院様でのご希望がありましたらご相談ください。
- Q.何かと費用がかかるのでは。
A.当苑の墓石型永代供養では、年間の管理費用などお願いすることはありません。

Profile | この方に伺いました

楠寺 第30代住職 神戸仏教会館館主・瑠璃光苑管理長
千葉 悠晃さん
「御本尊を祀り、ご先祖様を供養する場所は、子孫にとって心の財産である」という本質を大切に、社会生活の変化に伴った多様な供養のあり方を共に考える。



創建682年の歴史を持つ、永代供養のお墓と納骨のお寺「楠寺 瑠璃光苑」。個人供養墓、夫婦供養墓、先祖永代供養墓があり、散骨供養も行っている。先祖永代供養墓は、遠方や郷里にある古いご先祖様のお墓をお引越(改葬)し、一つのお墓におまとめお祀りできる。

お墓のこれからを考える
安心の永代供養

お盆には家族や親族が揃い、お墓参りに出かけるという方も多いのでは?お盆を機に改めてこれからのお墓のあり方について考えてはいかがだろうか。「親のお墓のために、子どもに負担をかけたくない」、「お墓を継承する人がいない」といった現代ならではの悩みから、今注目されているのが永代供養だ。将来の墓守に不安のある方や忙しくてお参りができない方に代わり、永代に渡ってお寺が管理

をし、責任を持って供養してくれる上、無縁仏になる心配もない。お墓への考えが変化しつつある今、永代供養は現代のニーズに合った新しい供養となっている。

古いお墓の相談も
墓じまいとお墓の引越

楠木正成公ゆかりの地として知られる楠寺は、都心の利便性と豊かな自然に恵まれたお寺。その二画にある瑠璃光苑では、先祖供養墓から個人墓まで色々な供養墓があり、墓石型永代供養も行っている。また、「遠方のお墓の墓守が大

変」、「永代供養できるお墓にしたい」など、墓じまいやお墓の引越(改葬)など、古いお墓の撤去から新しいお墓の開眼まで供養してくれる。お墓の引越は単に墓石を移すのではなく、墓所から墓所へ遺骨を葬り直すこと。面倒な手続きなども専門業者が相談に乗ってくれるので安心。「大事なものは、ご先祖様に手を合わせる場所が必要だ」という本質を失わないこと。ご先祖様も、今の生活も大切。それでいいんですよ」と微笑む千葉住職の言葉が心強い。

楠寺 瑠璃光苑
永代納骨堂

くすのきでらりこうえん
えいだいのうこつどう
神戸市中央区楠町7-3-2
(神戸文化ホール山側)
☎078-341-1894
りこうえん で検索



墓じまいまでの流れ

- ①改葬許可申請書を用意
- ②元のお墓管理者の許可をもらう
- ③改葬元の市町村役場へ提出する
- ④改葬許可書の発行
- ⑤お墓の閉眼式を行う
- ⑥遺骨の取り出し
- ⑦墓地、墓石の解体、撤去
- ⑧新しいお墓で納骨、開眼式を行う